

学校取材を通して分かった！

風土醸成が進む

授業研究のポイント

研究主任や
校内研修担当者に
向けてまとめました



令和5年度
校内研修活性化
事例紹介 まとめ

岡山県総合教育センター
令和6年3月発行

「普通の授業」を観合い、語り合ってみませんか。先生方が共に学び合う学校風土は、子どもたちの一人一人の学びを深め、豊かにすることにつながります。

ここでは、令和5年度に取材した「効率的・効果的に授業を観合い語り合う風土の醸成が進む取組」に関する6つの実践事例から共通するポイントを紹介します。



ICTで進化する、効率的・効果的な授業研究

授業前の ポイント

「授業に関する情報を共有」



- アイデアの相談
- 授業を観る視点の共有
- 指導案のクラウド共有

など

「授業改善のための情報共有」

教職員間で普段から気軽に授業のことを話題にしましょう。終礼での報告、ホワイトボードやクラウドを活用した情報共有も効果的です。何でも気軽に共有できる環境づくりが風土醸成への一歩です。

授業中の ポイント

「ICT端末で撮影や記録」



- 写真や動画を撮影
- クラウドに気付きを入力
- 遠隔配信を活用

など

「授業研究はチームワーク」

ICT端末を参観時に持参し、授業の記録等に活用しましょう。チームで協力し主体的に授業を観る、記録することは、様々な視点からのより充実した協議につながります。

授業後の ポイント

「ICT端末のクラウド活用」



- 協議にクラウドを活用
- 動画・写真を基に協議
- 振り返りの共有・蓄積

など

「新たな挑戦で充実した協議へ」

児童生徒の学びについての視点から協議をしてみましょう。視点を揃え、クラウド上で記録シートを共同編集しながら進める等、ICT活用を含む新しい授業研究に積極的に取り組んでいきましょう。

ICTを活用する際の留意点

児童生徒の個人情報をクラウドで取り扱う際には、必要最小限のアクセス権を設定しましょう。



リーフレット
「授業を探究する学校」及びや
「校内研修活性化 事例紹介」の
ダウンロードはこちら



※データ等の取扱いについては、所管のセキュリティ対策基準等を必ず確認してください。



授業改善の学校風土の醸成が進む学校では、よりよい授業づくりに向けて教師が互いに協力し合っていることや、授業の質を向上させるための環境が整えられていることがわかりました。そして、日常の様々な場面での情報共有や教師の主体性を生かした授業研究は、教育の質を高めるために重要な要素となっていると考えられます。